



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

発行責任者 横地常広

編集責任者 深澤恵治

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号

TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722

ホームページ <http://www.jamt.or.jp>

P1～P2 日臨技支部医学検査学会開催報告(2) 【中部圏支部】 【中四国支部】

P3 都道府県技師会 各地での取り組み(岡山県編)

P4 広島県臨床検査技師会 災害時支援活動で広島県と協定締結

日臨技支部医学検査学会開催報告(2)

2024年度 中部圏支部医学検査学会

どうするタスク ～ 愛知に集い、技師の働き方を考える ～

学会長 藤田 孝



学生フォーラム



エコライブ企画

11月2日(土)、3日(日)の2日間にわたり、「令和6年度日臨技中部圏支部医学検査学会」を名古屋国際会議場にて開催いたしました。本学会には1,318名の方にご参加いただき、盛会裏に終了することができました。ありがとうございました。

本学会の準備は今から遡ること約1年程前、令和5年9月に第1回実行委員会を開催し本格的にスタートしました。毎月1回の実行委員会を重ね、メインテーマは「どうするタスク ～ 愛知に集い、技師の働き方を考える～」にしよう、特別講演は八丁味噌を取り上げよう、教育講演は天気痛を取り上げてはどうか、もう1題、救急医療と検査を取り上げよう、と企画が決まって行きました。その後も能登の震災企画を取り入れよう、エコライブ企画を開催しよう、RCPCをプログラムに組み込めないか、展示会場ではスタンプラリーをした方が参加者が展示会場に集まるのでは、と実行委員からいろいろな提案が上がり、最終的にはたいへん盛沢山な企画をみなさんに楽しんでいただけることになりました。

実行委員会がスタートした当初は、まだまだ先という思いと、不安しかなかった学会も、あっという間に半年、1年と時が過ぎ、実行委員会の中心的業務も企画・立案から運営細部の決定・準備へと移って行きました。それとともに実行委員の睡眠時間も徐々に削られて行きましたが、皆が刻苦精励に頑張ってくれました。実行委員の苦労を顧みない献身的な活動に頭が下がるとともに、たいへん心強く思い、私の当初の不安は杞憂であったとすることができました。

開催も目前に迫った頃、南太平洋上で台風が発生しました。当初は台湾方面に向かっていたのであまり心配していなかったのですが、台湾付近から進路を変え日本に向けて北上してくるではありませんか。さすがにちょっと焦りました。幸い、九州手前で熱帯低気圧に変わったことから大きな被害に見舞われることはありませんでしたが、学会初日は激しく雨が降る時間帯もありました。荒天にもかかわらず大勢の方が会場に足を運んでくださったことに救われた思いがいたしました。天候不良による公共交通機関の運転見合わせで横地会長の名古屋入りが変更になり、当初の会長基調講演の時間には間に合わないことから、プログラムを

一部変更して対応することとなりました。ちょっとしたトラブルではありますが、過ぎてみれば良い思い出となります。

本学会にご参加いただきました皆さま、ご協力いただきました皆さまには至らぬ点が多々あったかと思ひ

ますが、7年振りの愛知県開催ということでご容赦くださいますようお願い申し上げます。本学会が盛会裏に終了できたのも、会員の皆さま、協賛いただきました企業の皆さまのご協力なくしては成し得なかったことであり、皆さまに深く御礼申し上げます。

2024年度 中四国支部医学検査学会

新時代 ～ 今こそ臨床検査技師の真価を問う ～

学会長 先瀬 浩功



令和6年11月2日（土）～3日（日）、令和6年度日臨技中四国支部医学検査学会（第57回）を、とりぎん文化会館（鳥取県鳥取市）にて開催いたしました。日本臨床衛生検査技師会、中四国支部臨床検査技師会、賛助会員の皆様のご協力・ご支援のもと、盛大な会を執り行うことができましたことを心より御礼申し上げます。

学会初日は台風の影響のため、鳥取市への交通機関が運休や通行止めとなり、来県を予定されていた方にとって参加を断念せざるを得ない状況となったことは、主催者としても非常に残念でした。しかしながらこのような状況にもかかわらず、718名の方々にお越しいただきましたことに感謝申し上げます。

『新時代 ～今こそ臨床検査の真価を問う～』を本学会のテーマとし、我々臨床検査技師が目指すべき『新時代』について語り合い、そして学びながら臨床検査技師の価値、真価を見出す実り多き学会となりました。『学』の企画においては、横地常弘会長による基調講演、宮原祥子執行理事による日臨技企画、特別講演には鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センター教授の上田敬博先生、砂の美術館総合プロデューサーの茶園勝彦先生、そして教育講演に高村好実先生のご講演に多くの聴講をいただきました。また、一般演題、シンポジウムにおいても活発な討議がなされました。ハンズオンセミナーにおいては講師のご配慮により、時間の許す限り多くの方々に技術の伝承を行っていただきました。また学会を盛り上げる『心』の企



ハンズオンセミナー

書道パフォーマンス



画には、鳥取城北高等学校による「書道パフォーマンス」で来場者に感動を伝え、「がいな万灯」では湯田会長が万灯を担ぎ、来年の日本医学検査学会の成功を祈願いたしました。『食』の企画では、情報交換会やランチョンセミナーで多くの方々に鳥取の食を堪能していただけたかと思ひます。

今回、鳥取県臨床検査技師会は『次世代への継承』をコンセプトに掲げ、若手中心の実行委員会メンバーで学会を企画運営いたしました。様々な問題もありましたが、多くの方々の支えにより無事学会を終えることができました。この学会が、「新時代の学会」として、参加された皆様の心に刻まれたのであれば、我々の想いをお伝えすることができたのではないかと思います。

令和7年5月には第74回日本医学検査学会を鳥取県臨床検査技師会が担当いたします。この学会を通じて得た熱意・団結力を日本医学検査学会でも発揮したいと思ひます。是非、日本医学検査学会にご参集いただきますようよろしくお願いいたします。

最後に、本学会開催にあたり、ご支援いただきました日本臨床衛生検査技師会、中四国支部臨床検査技師会、賛助会員の皆様に心より御礼申し上げます。

都道府県技師会 各地での取り組み(岡山県編)

全国47都道府県それぞれに臨床（衛生）検査技師会があります。各都道府県技師会では日臨技と連携した活動のほか、地元の医療関連団体や自治体、時には企業とも協力して地域に根差した独自の活動を行っています。今回は同県の診療放射線技師会、臨床工学技士会と協議会を設置し、研修会やイベントなど様々な活動を行っている、岡山県技師会の取り組みについて紹介いたします。

岡山県3団体連絡協議会 Okayama Technologist Cubic(OT3)

一般社団法人 岡山県臨床検査技師会
会長 藤岡 克徳

岡山県臨床検査技師会と岡山県診療放射線技師会、岡山県臨床工学技士会は2011年5月1日より、岡山県3団体連絡協議会（Okayama Technologist Cubic(略してOT3)）を発足しています。OT3ではチーム医療を推進し、3団体の相互理解を深めることを目的として講演会や勉強会などを持ち回りで開催しています。この度、2024年8月4日（日）にライフパーク倉敷市民学習センター大ホールにおいて、2024年度「第13回 Okayama Technologist Cubic(OT3) コラボセミナー 本気で病院ごっこしよう!」が開催されました。今回このイベントは岡山県臨床検査技師会が主催となり、5年ぶりの開催となりました。医師や看護師とともに医療の現場ではたらく特別な技術をもった臨床工学技士、診療放射線技師、臨床検査技師について、広く県民の皆さまに関心を持っていただき、それぞれの役割や業務内容について知っていただくことを目的としています。

なお、実務委員は各技師会の役員や県内各医療施設

《 内容 》

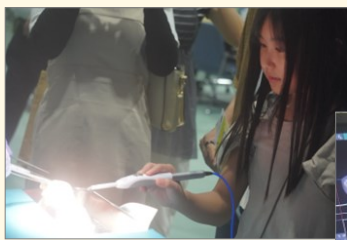
1. 臨床工学技士会：
手術室体験、内視鏡手術体験など
2. 診療放射線技師会：
3次元画像でみるヒトのカラダ、エックス線撮影、ヒトの骨の仕組みなど
3. 臨床検査技師会：
顕微鏡体験、超音波検査体験、心電図装着体験など
4. 出前オープンキャンパス
5. 塗り絵コーナー、輪投げコーナーなど

の医療従事者などで運営しています。

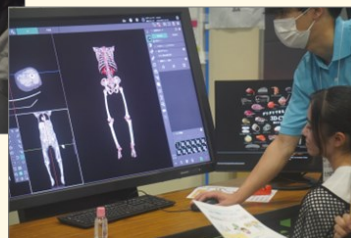
本イベントの参加者は187グループ、611名（未就学+小学生301名を含む）で大盛況のもと終わることができました。臨床検査体験では、顕微鏡ではたらく血液細胞を観察し、超音波装置をくだものゼリーにあてて見え方を学んだり、心電図の波形を模倣した輪投げで遊ぶなど、未就学児から高校生まで貴重な体験をしていただけたと思います。

次回は岡山県診療放射線技師会の主催で行事が開催される予定です。

《 会場風景 》



手術室体験
(臨床工学技士会)



立体画像体験
(診療放射線技師会)



エコー体験



顕微鏡体験



実行委員

広島県臨床検査技師会

災害時支援活動で広島県と協定締結

広島県臨床検査技師会 会長 米田 登志男

広島県臨床検査技師会と広島県は9月20日付で災害発生に備えた「広島県災害時公衆衛生チームの協力」に関する協定書を締結しました。広臨技は災害時、県の公衆衛生チーム保健衛生班からの求めに応じて会員を派遣し、県の災害時公衆衛生活動マニュアルに基づいて健康状況把握や健康相談、衛生管理などの活動を担います。

広島県では災害発生時に迅速かつ適切な公衆衛生支援を行うため、関係職能団体等の協力を得て、これまでの医療救護班、心のケア活動等を統合した「広島県災害時公衆衛生チーム」を設置しており、これまで19の関係団体が協定を締結しています。6年前の西日本豪雨災害で広臨技が実施したDVT検診の実績等を認められ、1か月程度のスピード締結に至りました。協定締結にあたり、広臨技として協定に基づく支援活動にしっかり対応できるように、マニュアルの整備を含め緊急時の会内体制などを再確認していきたいと考えています。



広島県健康福祉局 北原 加奈子局長（医学博士）と
広島県臨床検査技師会代表団

大規模災害時の支援人材育成講習会(その2)を開催中

大規模災害時には会員施設における臨床検査機能を維持することの他、被災地の求めに合わせてJ-MAT（日本医師会）や日本赤十字等と共同し、活動できる臨床検査技師が必要となります。本講習会は、いどこで起こるかわからない災害に備え、全国的な支援人材の育成を目的としています。

大規模な災害発生時におけるマネジメントや情報収集、被災地外からの支援の在り方とともに、災害対策本部の運営に関する知識を学んでいただきます。

オンデマンド配信によるWeb研修会となります。興味を持たれた方は是非ご受講ください。

会 期 : 令和6年8月1日（月）～令和7年2月28日（金）

会 場 : Web開催（日臨技Web研修会システム）

受 講 資 格 : 日臨技会員

受 講 料 : 無料

点 数 付 与 : 生涯教育研修制度 基礎教科 20 点

申込・受講方法 : 会員専用ページより①事前参加申込み

→ ②事前参加申込済一覧から受講

参加申請
Application for Participation

① 事前参加申込み

② 事前参加申込済一覧

学会セミナー申込み

請求書/領収書

自己申告による参加登録

（編集後記）気象庁によると三陸沖で海洋表層300mに至るまで、過去に例のない顕著な高温となっていたことが発表されました。宮城県気仙沼で太刀魚や伊勢海老も確認され、異常気象の影響は国民の生活基盤にも変調をきたしそうです。三陸での海藻が減少し雲丹や鮑の減少、秋刀魚や毛蟹の漁獲量が減るとおすすめの三陸の味覚が失われるのは悲しいですね。季節の美味しいもの食することで、体力気力の向上を保ち日常の活力にしたいですね！（千葉）